

## 第1学年1組 外国語科（英語）学習指導案

平成22年9月29日5校時

授業者 教諭 糸原保弘

### 1 単元名「ピクニックに行こう」NEW HORIZON English Course Book1 Unit 5

#### 2 単元の目標

##### ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・新出事項をコミュニケーション活動の中ですすんで使おうとする。
- ・ジェスチャーを用いるなど工夫して自分の気持ちを伝えようとする。

##### イ 表現の能力

- ・名詞の複数形を正しく言ったり書いたりする。
- ・How many ~?の文を使い、口頭で物の数を尋ねたり、それに名詞の複数形を用いて適切に応答したりする。
- ・命令文およびLet's ~.の文を用いて、指示・命令、提案・依頼をしたり、それに対して適切に応答したりする。

##### ウ 理解の能力

- ・名詞の複数形が用いられた英文を聞いて、その意味を正しく理解する。
- ・命令文およびLet's ~.で表現された文を聞いてその意味がわかり、それに見合った動作、行為をする。

##### エ 言語・文化についての知識・理解

- ・名詞の複数形概念と用法について理解する。
- ・How manyを用いた疑問文の構造およびその回答の仕方を理解する。
- ・命令文を用いる場合、会話する場面の状況、話し手の話し方やイントネーション、語気、表情、ジェスチャーなどによって指示・命令、提案・依頼の表現になることを理解する。

#### 3 学習の基盤（生徒観は省略）

この単元では、名詞の複数形を使ったハンバーガーショップでの注文の対話、How many ~? や Let'sを使った表現と命令文を学ぶ。名詞の複数形概念は日本語にはないものであるが、英語という言語の特性を理解する上で非常に重要な要素である。数を使う表現は日常よく使われる表現であり、How many ~?の文とその応答の文を含め、名詞の複数形を理解し運用できるようになることは会話の幅を広げてくれる。また、日常生活において、提案・申し出・指示をする場面は多い。その働きをするLet's ~.の文や命令文の意味を理解し表現できるようになれば、自分の意志を伝えることができるようになる。日本人の多くが海外旅行に行く昨今、海外のファーストフード店で注文し、金銭の授受をすることは、実際に起こりうる場面である。生徒が実践的な英語を疑似体験できる好素材である。

複数形の導入では、理解を容易にするために実物や絵を示しながら導入したい。ハンバーガーショップでの対話は、生徒に役割演技をさせ、楽しみながら定着を図りたい。How many ~?の学習では、友達とのインタビュー活動を取り入れ、誰が、何を、いくつ持っているかについて興味をもって取り組めるようにしたい。また、命令文には単なる指示だけでなく、申し出の働きもあることを理解させ、場面に応じた表現ができるように指導していきたい。

#### 4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
<p>① 新出事項をコミュニケーション活動の中ですすんで使おうとしている。 【話ア取】</p> <p>② 身振りやイントネーションを工夫して自分の意志を伝えようとしている。 【話ア取】</p>	<p>① 名詞の複数形を正しく言ったり書いたりすることができる。 【話、書イ正】</p> <p>② How many ~?の文を使い、口頭で物の数を尋ねたり、それに名詞の複数形を用いて適切に回答したりすることができる。 【話イ適】</p> <p>③ Pleaseを用いた依頼の文や命令文およびLet's ~.の文を用いて、依頼、指示・申し出、提案をしたり、それに対して適切に回答したりすることができる。 【話イ適】</p>	<p>① 複数形が用いられた英文を聞いて、その意味を理解し、適切に応じることができる。 【聞ウ正】</p> <p>② 命令文およびLet's ~.で表現された文を聞いてその意味がわかり、それに見合った動作、行為をすることができる。 【聞ウ適】</p>	<p>① 名詞の複数形概念と用法について理解している。 【書エ言】</p> <p>② How manyを用いた疑問文の構造およびその回答の仕方を理解している。 【書エ言】</p> <p>③ 命令文およびLet's ~.の文の構造を理解している。 【書エ言】</p>

#### 5 単元の指導計画及び評価計画（全7時間）

次	主な学習活動	評価規準	評価方法
1 (2時間)	<p>○ハンバーガーショップでの会話を聞いて内容を理解する。</p> <p>○名詞の複数形概念とその用法を理解し、正しく表現する。</p> <p>○教科書の対話を参考にし、ペアで新たな対話を作成する。</p>	ウの① イの①	観察 観察、ワークシート
2 (1時間)	<p>○How many ~?を含んだ対話を聞いて内容を理解し、適切に応じる。</p> <p>○友だちが何をいくつ持っているかを尋ねたり、答えたりするインタビュー活動を行う。</p>	ウの① イの②	観察 観察
3 (1時間)	<p>○名詞の複数形や、How many ~?の英文とその答えを正しく書く。</p> <p>○グループで協力して、ファーストフード店を開く準備をする。</p>	エの①、②	ワークブック
4 (本時)	<p>○教師のデモンストレーションから既習事項(名詞の複数形およびHow many ~?)の復習をする。</p> <p>○グループで協力して、ファーストフード店を開く(時間を区切って売り手と買い手両方を行う)</p>	アの①、②	観察、自己評価シート
5 (1時間)	<p>○Let's ~.や命令文を含んだ対話を聞いて内容を理解し、適切に応じる。</p> <p>○グループで協力して教科書の対話の続きを作り、発表する。</p>	ウの② アの②	観察、ワークシート 観察
6 (1時間)	<p>○Let's ~.や命令文やそれらに対する応答について正しいものを選んだり、書いたりする。</p>	エの③	ワークブック

7 (2時間)	○インタビューテストで買い物場面や命令文で話しかけられたことに対して適切に応答する。 ○小テスト、定期テスト	イの②、③  エの①、②、③	インタビューテスト  筆記テスト
------------	---	----------------------	------------------------

## 6 本時の学習

- 目標 ①ファーストフード店での役割演技において、学習した表現を適切に用いて積極的に対話を行う。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ②ファーストフード店での役割演技において、身振りやイントネーションを工夫して自分の意志を伝えようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

### ○展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
○英語であいさつをする。教師の質問に答える。	・明るく、リズムよく行う。	
○復習① 90 sec. Quiz ペアで問題を出し合う。	・机間支援を行う。	
○復習② 教師のデモンストレーション (この後の活動への導入)	・ALTとのやり取りを生徒に見聞きさせ、間違いを探させたり、正しい表現を考えさせたりする。 ・この後のグループ活動の行い方(必ず使う表現)や、できれば使いたい表現などを示す。	
○グループ活動 ファーストフード店でのやりとりをする。 前半と後半2回に分け、売り手と買い手の両方を行う。	・ALTは買い手に扮して活動に加わる。 ・JTEは評価と個別支援にまわる。	話ア取 (観察)
○本時のふり返り 自己評価シートを記入する。	・生徒の頑張った点を具体的に取り上げ、自己評価の充実を図る。	話ア取 (自己評価シート)

### ○本時の具体的な評価

- ①ファーストフード店での役割演技において、学習した表現を適切に用いて積極的に対話を行っているか。
- ②ファーストフード店での役割演技において、身振りやイントネーションを工夫して自分の意志を伝えようとしているか。

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への具体的な支援
関心・意欲・態度	① 役割演技において積極的に対話している。	役割演技で自分の役割を果たそうと努力している。	不十分でも最後まで対話ができるように励ます。
	② 役割演技において積極的に身振りやイントネーションの工夫を取り入れている。	役割演技中、1回は身振りやイントネーションの工夫を取り入れている。	教師のデモンストレーションを想起させ、助言を与える。